

八戸市史だより

第16号

発行日 平成25年3月31日 八戸市史編纂室

八戸藩の誕生から終焉までを見る

近世の通史編発刊

これまで各時代の資料編や民俗編、地誌編、自然編など計13巻を発刊してきた「新編八戸市史」ですが、このたびはいよ通史編へと入ります。初めに送り出す『通史編 近世』は、八戸藩の時代となる江戸時代が対象です。

通史編では、本の装丁をこれまでの資料編から変え、手に取りやすいA5版のソフトカバーにし、カラー印刷による鮮やかな写真や図版をちりばめた、親しみやすいものとなっています。

本巻の構成は、藩政の歴史を時代に沿って見ていく第一編と、藩内の産業や経済、文化など人々のくらしに関わる分野を採り上げた第二編の、大きく二つの編に別れており、自分の知りたい事柄や出来事に、簡単に行き着くことができるようになっています。

まず第一編では、八戸藩の誕生から、廃藩置県で終わりを迎えるまでの約二〇〇年間を、飢饉や財政難、幕府との関わり、藩政改革とそれに反抗する百姓一揆、幕末動乱期の八戸藩の動きなどにスポットを当てて、詳しく見ていきます。



『新編八戸市史 通史編 近世』
A5版、595ページ、
全編カラー印刷、
和暦西暦対照表付
属

目次

- 第1編 藩政の歴史
 - 第1章 八戸藩のはじまり
 - 第2章 打ち続く飢饉と財政難
 - 第3章 藩政改革と百姓一揆
 - 第4章 八戸藩の終焉
- 第2編 人々のくらし
 - 第1章 海に臨む八戸
 - 第2章 陸と川の交通
 - 第3章 山の利用と鉱業
 - 第4章 生産となりわい
 - 第5章 城下町と周辺の町村
 - 第6章 人々を苦しめた飢饉と災害
 - 第7章 豊かな文化と人々
 - 第8章 八戸の風土が生んだ安藤昌益

第二編では、八戸藩を支えた漁業や製鉄業などの産業と、それらの産物を日本各地へと運んだ海運や商業活動、交通についても章を設けました。また、生活の基盤であった農業や畜産、城下町の成り立ちや構造、俳諧をはじめとした文化面も採り上げ、人々のくらしを浮き彫りにしています。

さらには、八戸の近世を語る上で欠かすことができない、飢饉と安藤昌益については、それぞれ一つの章を設けて叙述しました。

これを読めば、八戸藩の歴史、当時の社会状況など、多くのテーマを理解することができるようになっています。

『新編八戸市史 通史編 近世』は、定価三、〇〇〇円で、市内各書店や図書館市史編纂室、博物館にて五月二十四日より発売します。

市史講座開催

市史編纂室では、『通史編』の発刊を記念し、市史編纂事業の成果を広く市民に知っていただくための活動として、「市史講座」を開催いたします。今年度は近世編として、『通史編』の執筆に携わったメンバーを講師として迎え、藩政時代の様々なテーマについて、新たな視点も交えながら解説していきます。

第一回目は、元近世部会長の斎藤潔さんを講師に、六月十五日（土）午前十時から十二時まで、市立図書館二階集会所にて開催します。テーマは「八戸藩の鉄山とたたら製鉄」です。

以降毎月一回、来年三月まで全十回の開催を予定しています。参加費は無料、事前の申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。
（通年の予定表は裏面に掲載しています）

裏面クイズの解答

- (1) B
- (2) D

詳しくは、通史編内に関連する記述がありますので、ぜひご覧ください。

部会短信

(平成24年度下半期)

原始・古代・中世部会

当部会では平成20年度の『考古資料編』以来となる『中世資料編』の印刷・編集作業を平成24年度から行っています。古文書だけではなく棟札や石碑など多種多様な資料を年代順に並べた資料集と、系図・由緒書や古文書の写真などを収録します。これまで刊行された新編八戸市史のなかでページ数がかつても多くなるので、編集作業にもかなりの時間がかかっています。

さらに平成25年度には、集大成となる『通史編 原始・古代・中世』の刊行も予定されており、2～3ヶ月に1回程度だった執筆者会議も毎月1～2回のペースで開催するなど、目が回るような忙しさとなっています。市史刊行の最終年度を有終の美で飾るために全力投球でがんばります。

近世部会

24年度の近世部会は、『通史編 近世』の発刊に向けた校正作業と、掲載写真の収集や撮影に邁進してきました。「新編八戸市史」としては初めての通史編であり、また、これまでのB5版から、A5版という一回り小さいサイズになったため、資料編とは違った編集の難しさがありました。読みやすさへの配慮はもちろんですが、できるだけ読者の理解やイメージの助けになるような、写真・図版の配置を心がけました。これまでの部会活動の集大成になりますので、より多くの方に手に取っていただければ幸いです。

近世部会は24年度末をもって全ての刊行を終え、解散となりましたが、今後は市史講座を開催し、成果の普及に努めていきます。

近現代部会

近現代部会では、資料編～、都市計画編、戦争編と計6冊の資料編の刊行を終えました。現在は残る1冊、平成25年度末に刊行予定の『通史編 近現代』の編集作業を行っています。

24年度は前年度に執筆された原稿を部会全員で目を通し、13回実施した読み合わせの中で意見を出し合いました。執筆者が10人と多いため、均整のとれた1冊の本にするのはなかなか大変ですが、部会一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

市史講座予定表 (第2回以降は現時点での予定です)

| | 日時 | 演題(仮題) | 講師 | |
|------|--------------------------------|-----------------------|--------|--------------------|
| 第1回 | 6月15日(土) 午前10時から 12時まで | 八戸藩の鉄山とたたら製鉄 | 斎藤 潔 | 八戸市史編纂室囑託員 |
| 第2回 | 7月20日(土) 午前10時から 12時まで | 近世八戸を襲った飢饉と災害 | 七崎 修 | 八戸歴史研究会会員 |
| 第3回 | 8月17日(土) 午前10時から 12時まで | 幕末の動乱と八戸藩 | 本田 伸 | 青森県立郷土館研究主幹 |
| 第4回 | 9月14日(土) 午後1時30分から 3時30分まで | 八戸藩の参勤交代と幕府への勤め | 岩淵 令治 | 学習院女子大学教授 |
| 第5回 | 10月19日(土) 午後1時30分から 3時30分まで | 八戸藩の海運と交易 | 渡辺 英夫 | 秋田大学教授 |
| 第6回 | 11月17日(日) 午前10時から 12時まで | 藩政改革と百姓一揆 | 中野渡 一耕 | 青森県環境政策課主幹 |
| 第7回 | 12月14日(土) 午後1時30分から 3時30分まで | 農山村の生業と環境 大豆と馬を中心に | 菊池 勇夫 | 宮城学院女子大学教授 |
| 第8回 | 1月19日(日) 午前10時から 12時まで | 八戸藩の宗教 | 藤田 俊雄 | 八戸市史編纂室長 |
| 第9回 | 2月15日(土) 午前10時から 12時まで | 八戸藩の成立と初期の藩政 | 熊谷 隆次 | 八戸工業大学第二高等学校 教諭 |
| 第10回 | 3月15日(土) 午前10時から 12時まで | 八戸の風土が生んだ安藤昌益 | 三浦 忠司 | 八戸歴史研究会会長 |

八戸近世クイズ (答えは表面にあります) *****

- (1) 二代藩主の南部直政が、将軍の徳川綱吉から特別に賜ったとされるものは？
- A. 朝鮮の屏風 B. オランダの鏡 C. お犬様の首輪
D. 清の陶磁器 E. ポルトガルのグラス
- (2) 八戸藩の江戸屋敷跡の近くにある、現在の有名スポットは？
- A. 東京ドーム B. 上野公園
C. 東京スカイツリー D. 六本木ヒルズ